

知事から一言

山梨県知事 山本 栄彦



平成17年度の予算編成に当たりましては、県税収入に一定の回復が見込まれるものの、国の三位一体の改革により、平成16年度にも増して厳しい財政運営を強いられることから、事務事業や県単独補助金の見直しなどを行い徹底的な歳出の削減を図りました。その上で、目指す山梨像「誇れる郷土 活力ある山梨」の実現に向けた新たな施策については財源を重点的に配分し、積極的な展開ができるよう配慮しています。

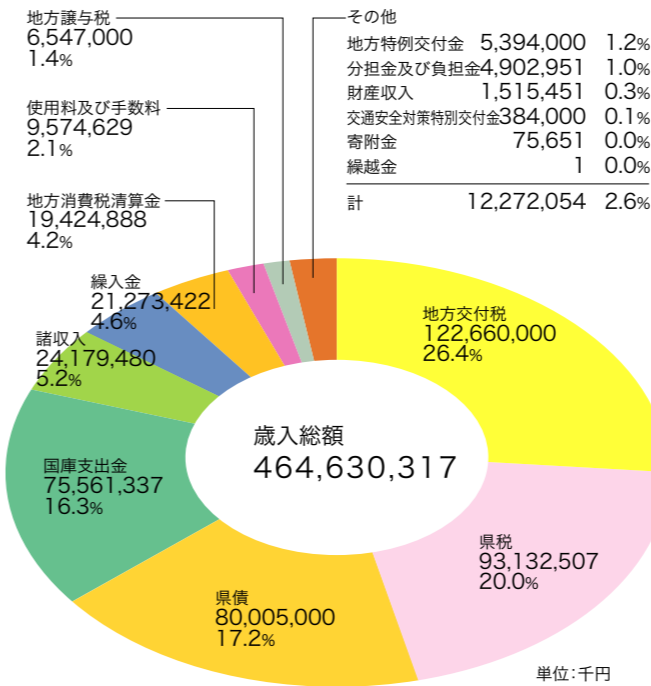
子どもは社会共通の「宝」です。少子化対策には特に重点的に取り組むこととし、3つの重点プロジェクトを中心として積極的な

施策展開を図ります。また、健康意識の高まりや高齢化などに対応するため、医療・福祉対策にも引き続き取り組みます。さらに、観光立県「富士の国やまなし」の確立を目指し、観光振興戦略に基づくさまざまな施策を展開するほか、防災対策にも力を入れていきたいと考えています。厳しい財政状況の下ではあります。財政の健全性にも配慮しながら、明日の山梨の発展につながるための予算編成ができたと思います。今後、この予算に計上されている事業を着実に実施することにより、県民のみならず期待に応えていきたいと考えています。

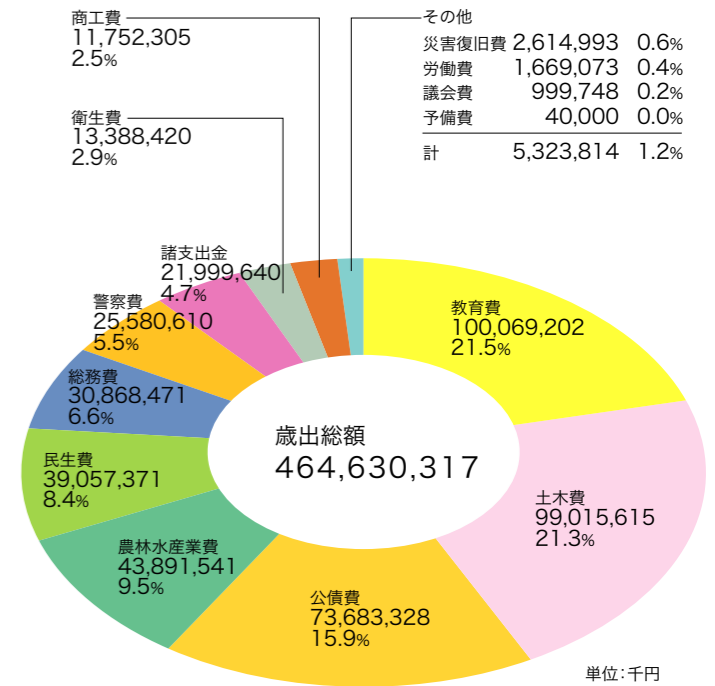
特集:平成17年度当初予算について

「誇れる郷土 活力ある山梨」の実現を目指して

一般会計歳入



一般会計歳出



平成17年度の重点事業

01 少子化対策

2,752,030 千円

高齢者との交流などを通じて地域全体で子育てを支援する「地域で子育てプロジェクト」、相談総合窓口の設置など子育てに対する不安を軽減する「あんしん子育てプロジェクト」、子育て応援企業の募集など子育てしやすい職場環境づくりを進め仕事との両立を支援する「企業も子育て応援プロジェクト」の3つの重点プロジェクトを中心に、積極的に施策を展開します。

<地域で子育てプロジェクト>

- ・高齢者と子どもの帰り道ふれあい事業費補助金
- ・おじいちゃん先生・おばあちゃん先生派遣モデル事業費補助金
- ・愛育会活動の支援

<あんしん子育てプロジェクト>

- ・子育て相談総合窓口設置事業費
- ・安心子育てテレフォン(仮称)設置事業費
- ・子育て総合情報サイト開設費

<企業も子育て応援プロジェクト>

- ・子育て応援宣言企業紹介事業費
- ・おでかけ安心ベビーシート等設置事業費補助金



乳幼児保育の様子

歳入

- 県税は931億円、主要法人の収益が引き続き好調なことから、法人関係税の増収などにより、全体として5.5%の増となっています。
- 地方交付税は1,227億円、三位一体の改革では地方公共団体の安定的な財政運営に必要なための総額の確保はされましたが、本県は、税収が伸びる見込みのため、2.0%の減となっています。
- 県の借入金である県債は800億円、県債発行削減計画に基づく公共事業の段階的縮減などにより、10.9%の減となっています。

注)増減率は、平成16年度当初予算額との対比です。

歳出

- 人件費は、教育職員や警察官の増員による増があるものの退職者の減から全体としては0.5%減っており、公債費も5.3%減っていることから義務的経費は、2.6%の減となっています。
- なお、本県は財政の弾力性を示す指標である経常収支比率が84.4%と全国6番目の良い水準です。
- 道路の整備などの公共事業費・準公共事業費は段階的に縮減する中で、選別と重点化を図りました。この結果10.5%減の1,071億円となっています。
- このほか、行財政改革プログラムに基づく経費の見直しを行った結果、使い途に制限のない一般財源を65億円節減しました。

平成17年度の主な事業(体系別)

(1) 時代を生き抜く力強い産業の振興

- 山梨ブランド推進事業費.....37,911千円
地場中小企業者などが取り組む産地ブランドの形成、販路開拓事業を支援します。
- 総合理工学研究機構費.....76,914千円
産学官の連携や共同研究、県内企業への技術移転などを推進するための試験研究機関として研究機構を開設します。
- ジョブカフェやまなし運営費.....18,730千円
若年者の就業を支援するため、国や関係機関と連携して、雇用関連サービスをワンストップで提供します。
- 地域提案型集落営農促進事業費.....3,117千円
本県農業の「担い手」として「集落営農」を育成します。



総合理工学研究機構のある工業技術センター



ごみの散乱防止とリサイクルを推進するためのポスター

(2) 環境日本一やまなしの確立

- 廃棄物監視推進事業費.....7,261千円
不法投棄監視協力員を養成するとともに、不法投棄を防止するための夜間監視パトロールを実施します。
- 環境日本一エコエネルギーオリンピック開催費.....2,492千円
エコエネルギーを活用した技術とアイデアのコンテストなどを開催し、環境保全と持続的な発展が可能な循環型社会の形成を推進します。



県立博物館(平成17年10月15日開館予定)

(3) 明日を拓く人づくり・文化づくりの展開

- 新たな学習拠点整備推進費.....132,629千円
県立図書館と生涯学習センターを一体化した新たな学習拠点を甲府駅北口にPFI方式で整備します。
- 県立博物館建設費.....688,835千円
山梨の歴史や風土について学び、実感することができる博物館を整備します。
- 山梨県立大学整備費.....1,489,018千円
平成17年4月に県立女子短期大学と県立看護大学を統合して新たな大学として開学する山梨県立大学の飯田キャンパスに新校舎を建設します。

(4) 安心・安全に暮らせる社会の形成

- 難病相談・支援センター事業費.....6,617千円
難病患者や家族などのさまざまな悩みや不安に対し、適切な情報提供や専門医などによる相談を行うとともに、患者や家族の交流の場を提供するセンターを設置します。
- 小児救急医療体制整備費補助金.....49,230千円
休日、夜間における小児救急医療体制を整備するため、小児初期救急医療センター、小児病院群輪番制の運営に対し助成します。
- 重度障害者在宅就労促進事業費.....5,808千円
これまで職業的自立が困難とされていた重度障害者の就労を確保するための事業を行います。



小児初期救急医療センターのある甲府市医療福祉会館

(5) 快適な生活と活発な交流を支える基盤の充実

- 市街地再開発事業促進費補助金.....2,195千円
甲府市紅梅地区事業化促進計画の策定に対して補助します。
- 人にやさしい生活空間整備事業費.....222,000千円
子どもや高齢者、障害者などの安全で快適な生活環境を整備するため、通学路や道路、公園のバリアフリー化を推進します。
- 高速情報通信基盤整備事業費.....1,457,066千円
情報通信に関する地域間格差の解消などを図るため、通信事業者などにも開放可能な高速情報通信基盤を整備します。



人にやさしい歩道

平成17年度の重点事業

02 観光振興施策

5,490,361千円

観光立県「富士の国やまなし」の確立を目指し、富士山の自然の保護と適正利用を図るための富士山レンジャーの設置、観光キャンペーン活動の展開、日本国際博覧会「愛・地球博」への参加、中国に重点を置いた本県の魅力の宣伝など、観光振興戦略に基づいたさまざまな事業を積極的に実施していきます。

- ・富士の国やまなし観光ルネッサンス塾事業費
- ・やまなし感動再発見事業費
- ・まつりモデル創造事業費補助金
- ・舞鶴城公園活用促進事業費
- ・富士山レンジャー設置事業費
- ・富士山麓環境美化推進事業費
- ・富士山北麓エコツーリズム人材育成推進事業費
- ・富士山トイレ施設整備費補助金費
- ・富士の国やまなし観光大使事業費
- ・富士の国やまなしネット(仮称)構築事業費
- ・海外の旅行番組誘致事業費



富士の国やまなし

平成17年度の重点事業

03 防災対策

1,211,049千円

災害時における情報伝達機能の強化を図るため、防災行政無線網をデジタル化するほか、地域防災力の向上を図るため、県・市町村・自主防災組織などによる合同図上訓練を実施するとともに、耐震診断の結果、耐震性が低いと判定された木造住宅の耐震改修に対する支援などを行います。

- ・地域防災力実践活動モデル事業費
- ・防災行政無線デジタル化整備実施設計
- ・木造住宅「わが家の耐震化」支援事業費補助金
- ・富士山火山研究費
- ・災害医療対策費
- ・消防防災施設整備費補助金
- ・火山防災情報基盤緊急整備事業費
- ・地震被災建築物応急危険度判定士養成費
- ・地震防災訓練費
- ・土砂災害情報相互通報システム整備事業費
- ・防災航空隊費



防災マップづくり